

インフルエンザ 2014/15 シーズン

2015年36週から2015/16シーズンに入った。新たなシーズンとなったため昨シーズンの状況をまとめた。

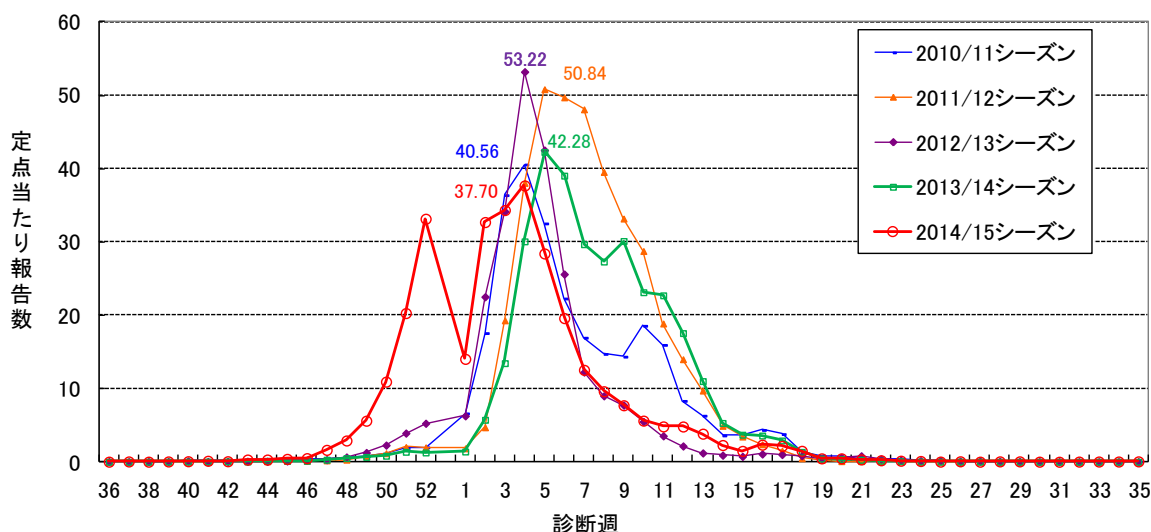
2014/15シーズンの千葉県におけるインフルエンザは、2014年47週に流行の目安としている1を超え1.62となり、2014年50週に注意報基準値である10を超え10.93に、52週には警報開始基準値である30を超え33.16となった。年末年始に減少した後、2015年4週にピークとなる37.70となった。その後、減少を続け、2015年8週に警報終息基準値である10を下回った。

<参考>

千葉県健康福祉部疾病対策課 インフルエンザ流行状況

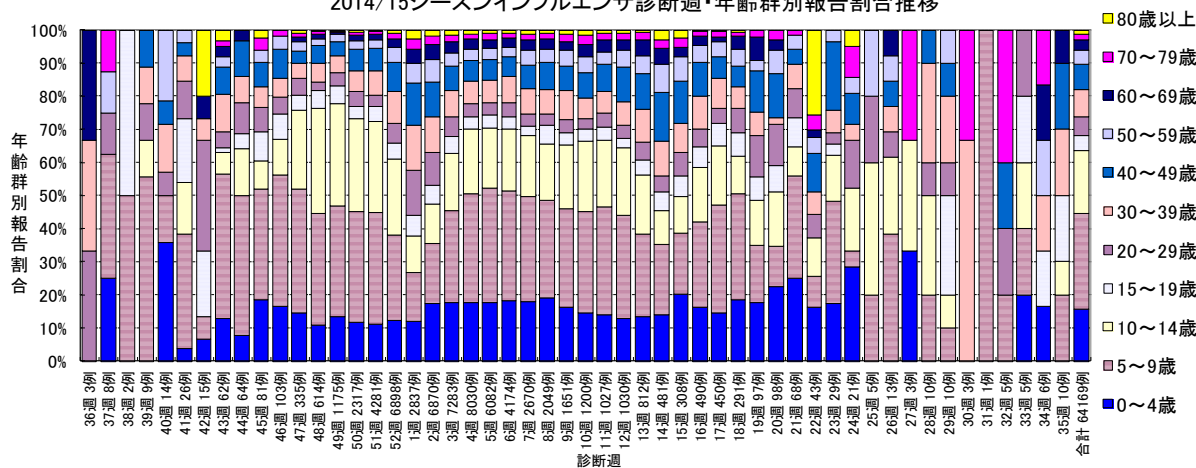
URL: <http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influ2009.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



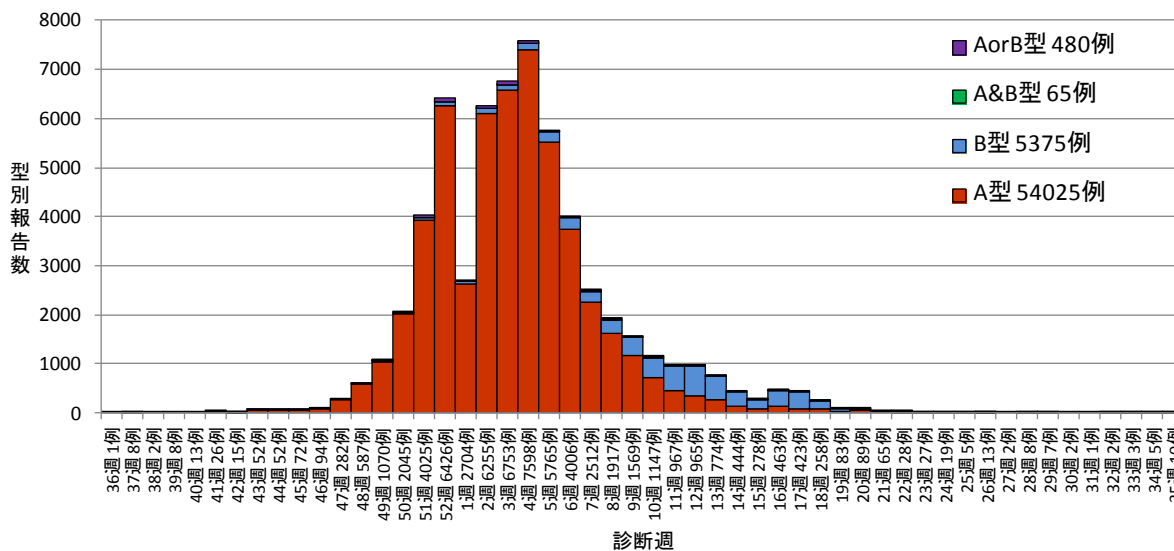
2014/15シーズンに千葉県でインフルエンザとして報告された64,169例の年齢群別報告数は、0～4歳10,099例(15.7%)、5～9歳18,471例(28.8%)、10～14歳12,211例(19.0%)、15～19歳2,971例(4.6%)、20～29歳3,530例(5.5%)、30～39歳5,266例(8.2%)、40～49歳5,040例(7.9%)、50～59歳2,699例(4.2%)、60～69歳1,906例(3.0%)、70～79歳1,234例(1.9%)、80歳以上742例(1.2%)だった。

2014/15シーズンインフルエンザ診断週・年齢群別報告割合推移



2014/15シーズンの小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果 59,945例の内訳は、A型 54,025例 (90.1%)、B型 5,375例 (9.0%)、A型とB型両方陽性 (A and B) 65例 (0.1%)、型非鑑別キットで陽性 (A or B) 480例 (0.8%) だった。シーズン通してA型の報告が多かった。

2014/15シーズン千葉県におけるインフルエンザ型別迅速診断報告数



2014/15シーズン千葉県におけるインフルエンザ型別迅速診断報告割合

